

被爆60年を節目に、新たな決意で前進を

なくせ核兵器 なくすな9条

第16回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい in 愛知

日時 2005年 10月22日(土) 14時～
23日(日) 15時

会場 中京大学・名古屋キャンパス
「ヤマテホール」ほか
名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL 052-835-7111

参加費	医師・歯科医師	5,000円
	医療関係者	2,000円
	医学生・一般	1,000円

10月22日(土) シンポジウム

「戦争・核の恐怖から抜け出す平和への道—日本の果たすべき役割は?」

10月23日(日)

講演「医師としての被爆体験を語る」

肥田舜太郎氏 (日本被団協被爆者中央相談所理事長)

- 第1分科会 核兵器廃絶をめざして～世代を超えて医師の役割を考える～
- 第2分科会 原爆症とは何か—集団訴訟勝利、被爆者の救済のために
- 第3分科会 憲法と日本の戦争責任
- 第4分科会 劣化ウランの被害と劣化ウラン弾禁止運動

NAGASAKI-1945
～アンゼラスの鐘～



10月22日(土)
アニメ映画
「アンゼラスの鐘」上映会
14:00～15:20
※協力券1,000円
「つどい」参加者は無料

広島で、長崎で私たちの先輩医師たちは原爆で傷ついた人を助けようと懸命の努力をしました。しかし、放射線障害の前に医学は全く無力でした。そのことは、今も変わりません、そして今後も…。治すことができないのなら、私たち医師のつとめは予防すること。住民の生命を守るため、医師として「核兵器を廃絶させなければ」と、全国各地に「反核医師の会」ができました。私たち「反核医師のつどい」はその集まりです。

